



ご自分や家族・友人の
お酒の飲み方が気になる方、
どなたでも歓迎



2017年 **11月8日** (水)
13:30 ~ 15:30

アルコール依存症治療

変わったこと・ 変わらないこと

矯風会館 1階ホール (JR 大久保駅北口徒歩2分)

まえさと ひとし

● 講演 **真栄里 仁** 医師

(精神科専門医、久里浜医療センター教育情報部長)

● 体験談 禁酒同盟断酒修養会メンバーほか

参加費無料

お問合せ：電話 03-3361-0934 (平日 9:30 ~ 17:00)

FAX 03-3361-1160

Eメール kyofukai-somu@festa.ocn.ne.jp



主催：一般財団法人日本禁酒同盟、公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

アルコール依存症の治療方法はどんどん変化しています。

以前は、〈底ツキ〉になるまで回復が始まらないとか、本人が否認している間は病院へ無理やり引っ張って来てても意味が無い…と言われてきました。

多くの方の体験談を聞いていると、たぶんその通りなのでしょう。でも、どん底に落ちる前に助けてください！という家族からの悲痛な叫びがあり、動機付け面接法などの新しい手法が取り入れられています。治療現場での新しい動向を聞きます。また、どんなに研究が進んでも変わらないこともあります。

講演に加えて、依存症の当事者の体験談を聞きます。アルコール依存症で家族がどう思ったか、生活はどうしたか、回復のために自助グループがどんな役割を果たすのか…などなどがわかります。

依存症のご本人・家族はもちろん、援助職の方、酒豪と依存症はどう違うのかわからない、お酒をやめられないのは意思が弱いからかな？という方もぜひ、ご参加ください。

久里浜医療センターは、アルコール依存症者の間では通称〈久里浜大学〉と呼ばれている病院で、現在はネット依存にもとりくんでいます。



講師紹介

真栄里 仁 (まえさと ひとし)

1972年生れ 沖縄県出身。

1996年群馬大学医学部卒業。琉球大学医学部、沖縄県立宮古病院勤務を経て、

2003年に国立久里浜病院(現、久里浜医療センター)に赴任。

現在、精神科医長、教育情報部長。精神保健指定医、精神科専門医。

日本アルコール関連問題学会評議員・編集委員。

依存症全国拠点機関事業事務局次長。

2014年より一般財団法人日本禁酒同盟理事。



主催団体紹介

● 一般財団法人日本禁酒同盟

日本禁酒同盟は、1887(明治20)年、東京・横浜の禁酒会の活動を母体として発足。一貫して酒害の啓発と予防教育に取り組み、アルコール依存症当事者たちの例会〈断酒修養会〉とも連携してきた。2012年に一般財団法人に移行。断酒修養会メンバーの体験談をまとめた『初の断酒会を拓き断酒修養会を営む』を発行(2016年)。武蔵野市に資料館を有す。

東京都武蔵野市西久保1丁目8-2 電話0422-54-8555

● 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

米国の禁酒運動に端を発すが、女性の地位向上をめざす矯風会という名称で1886年に発足。創設期のメンバーは、禁酒同盟のあゆみに登場する者多数あり。

2012年に公益移行後は、女性の人権と福祉を活動の柱として、女性と子どもが安全に生きられる社会の実現という視点で、アディクション問題にも取り組んでいる。

DV女性のシェルターを都内某所で運営。

東京都新宿区百人町2-23-5

会場地図



申込み不要ですが、会場準備の都合上、前日までに矯風会のお問合せ電話番号にお知らせくださると助かります。